

平成 30 年 12 月 3 日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社

日経 WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」の受賞について

株式会社新生銀行の子会社である、新生企業投資株式会社のインパクト投資チーム シニアディレクター 高塚清佳と、同じくシニアディレクター 黄 春梅の 2 名は、日経 BP 社(本社:東京都港区、代表取締役社長 新実 傑)が発行する、女性のキャリアとライフスタイルを支援する女性誌『日経 WOMAN』において、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2019 子育て支援サポート賞」を受賞しました。

このたび、育児と仕事を両立できる社会を目指し、平成 29 年 1 月に国内の金融機関初のインパクト投資を行う「子育て支援ファンド」への取り組みが評価され、受賞にいたしました。

「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」は、

1. 働く女性のロールモデルを提示
2. 組織の中に埋もれがちな個人の業績に光を当てる
3. 活躍した女性たちを通して時代の変化の矛先をとらえる

という主旨のもと、平成 11 年から毎年実施されているアワードで、本年が 20 回目となります。

「子育て支援ファンド」(正式名称:日本インパクト投資 1 号投資事業有限責任組合)は、国内の子育て関連事業へのインパクト投資 ※を行うためのファンドであり、新生銀行と新生企業投資が共同で設立したものです。保育や学童、教育、家庭支援、育児と介護の両立支援などの事業や、女性活躍支援などのワークライフバランスに関する子育て関連事業を営むアーリーからレイトーステージの企業を投資対象に、1 件当たり 5 千万円程度の規模で投資を行います。これまでに、託児機能付きワーキングスペースの運営を行う株式会社ママスクエア、保育園向け IoT ソリューションを提供するユニファ株式会社、習い事・送迎付き添い付きの民間学童保育を運営する株式会社ウイズダムアカデミー、AI 型タブレット教材の開発・提供を行う株式会社 COMPASS、教育・学習支援事業を行うアルクテラス株式会社の計 5 社へ出資を行っています。現在、社外からの投資を募る 2 号ファンド組成の検討に入るなど、投資対象のさらなる発掘、育成に取り組んでいます。

新生銀行グループでは、グループ会社全社員が性別を問わずそれぞれの強みを活かして活躍できる企業風土を醸成することを目的に、平成 30 年 2 月に「グループ女性活躍推進委員会」を設置しており、また人事制度面においても、兼業・副業の解禁や、全社員を対象とする在宅勤務制度の導入などに金融機関としていち早く取り組んでいます。今後も女性が働きやすい職場環境づくりを進め、女性活躍推進を一層進めてまいります。

※経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指す投資。



以 上